

1階

映像ホール プログラム

2017(平成29)年

7月11日(火)～8月27日(日)

無料

映像ホールでは、様々なテーマの映像作品を上映します。
ぜひご利用ください。



映像① テーマ1：東京ゆかりの人間国宝

上映時間
10:30～

「芹沢銈介の美の世界」

(1984年 35分)

型絵染の人間国宝・芹沢銈介氏の美の世界を、技と多様な作品を紹介しながら絵巻き風に語る。



映像② テーマ2：伝統の祭りとこどもたち

上映時間
11:30～

「伊那人形芝居 - 明日へつなぐ伝承のチカラ -」

(2010年 36分)

伊那谷に約300年前から紆余曲折を経て継承されてきた「伊那人形芝居」。今なぜ四座のみが生き残ったのかを追い、「伝承のチカラ」の秘密に迫ります。



映像③ テーマ3：江戸東京の伝統文化を支える和紙

上映時間
12:30～ / 土曜17:30～

「細川紙の美を漉く - 和紙のこころ -」

(1982年 30分)

埼玉県小川町の重要無形文化財「細川紙」を江原土秋氏の技を通し紙漉きと和紙の心を紹介する。



映像④ テーマ2：伝統の祭りとこどもたち

上映時間
13:30～

「-琵琶湖・長浜-曳山まつり」

(1985年 32分)

滋賀県長浜市に伝わる、日本三大山車祭の一つ。二百年余続く子供狂言に取り組み町衆達を描く。



映像⑤ テーマ1：東京ゆかりの人間国宝

上映時間
14:30～

「狂言師・三宅藤九郎」

(1984年 32分)

人間国宝・三宅藤九郎氏。「狂言は、能と芝居の丁度中間崖つづちをぎりぎりで歩むもの」と語る。



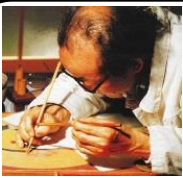
映像⑥ テーマ2：伝統の祭りとこどもたち

上映時間
15:30～

「鬼来迎 鬼と仏が生きる里」

(2013年 38分)

千葉県九十九里浜近くの虫生に来迎会の系譜をもつ仮面劇・鬼来迎が伝わる。里人の生活と共にある民俗芸能の姿を描く。



映像⑦ テーマ1：東京ゆかりの人間国宝

上映時間
16:30～

「西出大三・截金の美」

(1988年 30分)

独学で技術を取得した西出氏の技を紹介。細線に裁った金箔を筆とのりで光彩放つ文様に描く。

上映時間割表

上映開始	火	水	木	金	土	日・祝
10:30			映像①			
11:30			映像②			
12:30			映像③			
13:30			映像④			
14:30			映像⑤			
15:30			映像⑥			
16:30			映像⑦			
17:30					映像③	



- 映像ホールは、1階ミュージアムショップ後方にあります。
- 各上映時間の10分前に開場いたします。
- 無料でご利用いただけます。
- プログラムや上映スケジュールは変更する場合があります。
- 詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

1階 映像ホール企画上映

2017(平成29)年 7月11日(火)
～8月27日(日)

特別企画として公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団が制作した日本の伝統文化の記録映画を上映します。ぜひお立ち寄りください。

テーマ1

東京ゆかりの人間国宝

上映時間

映像①「芹沢銈介の美の世界」(1984年 35分)	10:30～
映像⑤「狂言師・三宅藤九郎」(1984年 32分)	14:30～
映像⑦「西出大三・ <small>にしでだいぞう</small> 截金 <small>きりかね</small> の美」(1988年 30分)	16:30～

人間国宝の卓越したわざは、時代を超えて語りかけてきます。今なお人々の心をとらえて離さない、東京ゆかりの人間国宝たちがみせる美しいわざと芸の世界をご紹介します。

テーマ2

伝統の祭りとこどもたち

上映時間

映像②「伊那人形芝居-明日へつなく伝承のチカラ-」(2010年 36分)	11:30～
映像④「-琵琶湖・長浜-曳山まつり」(1985年 32分)	13:30～
映像⑥「 <small>きらいごう</small> 鬼来迎 鬼と仏が生きる里」(2013年 38分)	15:30～

各地に伝わる祭りの中には、こどもたちが役を担い、大人顔負けのわざや芸を披露するものがあります。伝統継承に励み、祭りを通じて成長していく、こどもたちの姿をご紹介します。

テーマ3

江戸東京の伝統文化を支える和紙

上映時間

映像③「細川紙の美を漉く -和紙のこころ-」(1982年 30分)	12:30～ / 土曜17:30～
-----------------------------------	-------------------

埼玉県小川町の重要無形文化財「細川紙」。江戸小紋や江戸からかみなど、江戸東京の伝統文化を支える細川紙の制作工程や紙漉き職人のわざを紹介します。

映像提供 公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団について

1979年の設立以来、日本の優れた伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能や民俗行事など、人のわざや芸といった無形の伝統文化の保存・継承・振興をはかり、文化の向上、発展に寄与することを目的としています。

～無形の伝統文化にむきあう4つの事業～

- ①無形の伝統文化を支える方々を見出し「伝統文化ポーラ賞」を贈呈する顕彰事業
- ②無形の伝統文化の維持・向上に貢献する記録や研究、保存・伝承活動への助成事業
- ③人間国宝のわざや全国の民俗芸能・行事を映画化して公開する保存記録作成事業
- ④伝統文化を身近にするイベントの開催や後援、機関誌発行などの普及事業

ポーラ伝統文化振興財団
伝統文化記録映画とは
シリーズ「伝統工芸の名匠」
「伝統芸能の粋」「民俗芸能の心」を展開し、48作品を制作しています。今年11月には蒔絵の人間国宝、室瀬和美氏のわざを記録した映画を公開予定。無料貸出や上映会を通じて一般公開しています。